

彼らが旅にでる理由



芸術家たちの センチメンタル・ジャーニー

Sentimental and Inspirational: The Journeys of the Artists

「西行物語絵巻」、与謝蕪村筆「奥の細道画卷」、
竹内栖鳳筆「潮来初夏」など、旅をテーマにした
海杜日本美術コレクションの名品を一挙公開

2023
9月2日(土) - 10月22日(日)

【開館時間】10:00~17:00(入館は16:30まで)

【休館日】月曜日(ただし9/18(祝)、10/9(祝)は開館)、9/19(火)、10/10(火)

【入館料】一般 1,000円 / 高大生 500円 / 中学生以下無料

※障がい者手帳などをお持ちの方は半額。介添えの方は1名無料。※20名以上の団体は各200円引き。

タクシー来館特典=タクシーでご来館の方、タクシー1台につき1名入館無料

※当館ご入場の際に当日のタクシー領収書を受付にご提示ください。

主催=海の見える杜美術館 後援=広島県教育委員会、廿日市市教育委員会

海の見える杜美術館

learn from nature and pursue art & culture

〒739-0481 広島県廿日市市大野亀ヶ岡10701 Tel:0829-56-3221
E-mail:info@umam.jp https://www.umam.jp

〈図版〉《西行物語絵巻》(部分)江戸時代
与謝蕪村《奥の細道画卷》(部分)江戸時代・安永7(1778)年



1

2

旅することは、古来芸術家たちのインスピレーションの源のひとつでした。日本の芸術家たちも、様々な場所を旅し、そしてその体験を自身の表現に生かして 絵 いたした。本展覧会では、旅する芸術家たちの足跡を、海の見える杜美術館が所蔵する前近代から近代にかけての日本絵画コレクションでたどります。歌人たちは古の先達^{いにしえ せんだつ}が詠んだ名所に憧れ、画家たちはまだ見ぬ土地の風景をスケッチに留めようとするなど、芸術家たちが旅にでる理由は様々です。彼らが旅^ひに惹かれる背景を、作品を通してご覧いただけます。

- 1 《西行物語絵巻》(部分) 江戸時代 2 与謝蕪村《奥の細道画巻》(部分) 江戸時代・安永7(1778)年(期間中巻替えあり)
 3 竹内栖鳳《潮来初夏》昭和4(1929)年頃 4 池田遙邨《九州湯崎》昭和9(1934)年 5 池田遙邨《波寄せる》昭和62(1987)年 6 小松均《石廊崎》(部分) 昭和15(1940)年

イベント情報

当館学芸員によるギャラリートーク

[日時]9月2日^土、10月7日^土

13:30~(45分程度)

[会場]海の見える杜美術館 展示室

[参加費]無料(ただし、入館料が必要です)

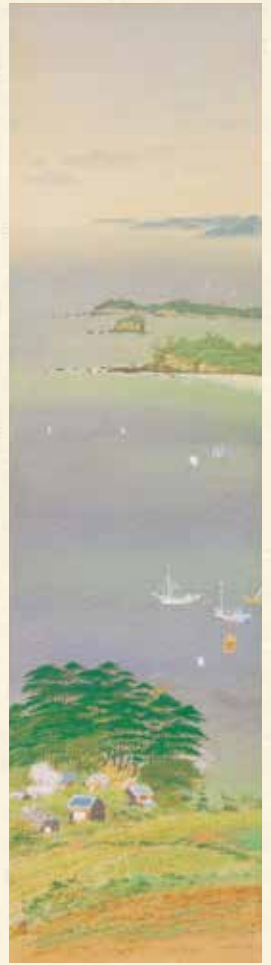
[事前申し込み]不要



3



5



4



6

同時開催

香水瓶展示室

長年にわたり収集および調査をしてまいりました当館の香水瓶コレクションから、各時代を代表する香水瓶をいつでもご覧いただけます。

《セント・ボトル》
イギリス 1660年頃

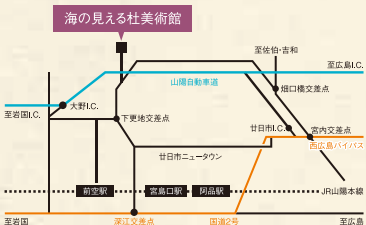


竹内栖鳳展示室

「画家の日常～やっぱり家が一番～」

栖鳳は渡欧や中国旅行、各地へのスケッチ旅行や療養のための旅を行い、それにより新たな題材を得ています。しかし、その一方で栖鳳は庭先で植物や動物、鳥などを育て、自身の身近なものへの視線が感じられる優品も残しています。特に、栖鳳の手元に未完成のまま残された短冊や色紙に描いた植木鉢、スイカなどからは、栖鳳が生活のさまざまなに画趣を感じ取っていたことが見受けられます。この度の企画では、栖鳳をはじめとする近代の画家達が日常で得た感興をいかに絵にしたかをご覧ください。

竹内栖鳳《家鴨》1940年(昭和15)頃



【アクセス情報】

山陽本線「阿品駅」または広島電鉄「広島阿品駅」からタクシーで13分
 山陽自動車道「大野I.C.」から車で約10分

タクシー 来館特典

タクシーでご来館の方、タクシー1台につき1名
 入館料無料。※当館ご入場の際に当日のタクシー領収書を受付にご提示ください。

海の見える杜美術館
 learn from nature and pursue art & culture

〒739-0481 広島県廿日市市大野亀ヶ岡10701 Tel:0829-56-3221
 E-mail:info@umam.jp https://www.umam.jp